

骨髄バンクの現状と課題

令和5年9月21日

令和5年度長野県骨髄・末梢血幹細胞提供推進連絡会議

公益財団法人日本骨髄バンク 広報渉外部

骨髓バンクの現状

■ ドナー登録者現在数：547,318名

＜内訳＞	10代登録者数	：	4,602人	（	1%）
	20代	//	：	89,361人	（16%）
	30代	//	：	135,382人	（25%）
	40代	//	：	215,485人	（39%）
	50代	//	：	102,488人	（19%）

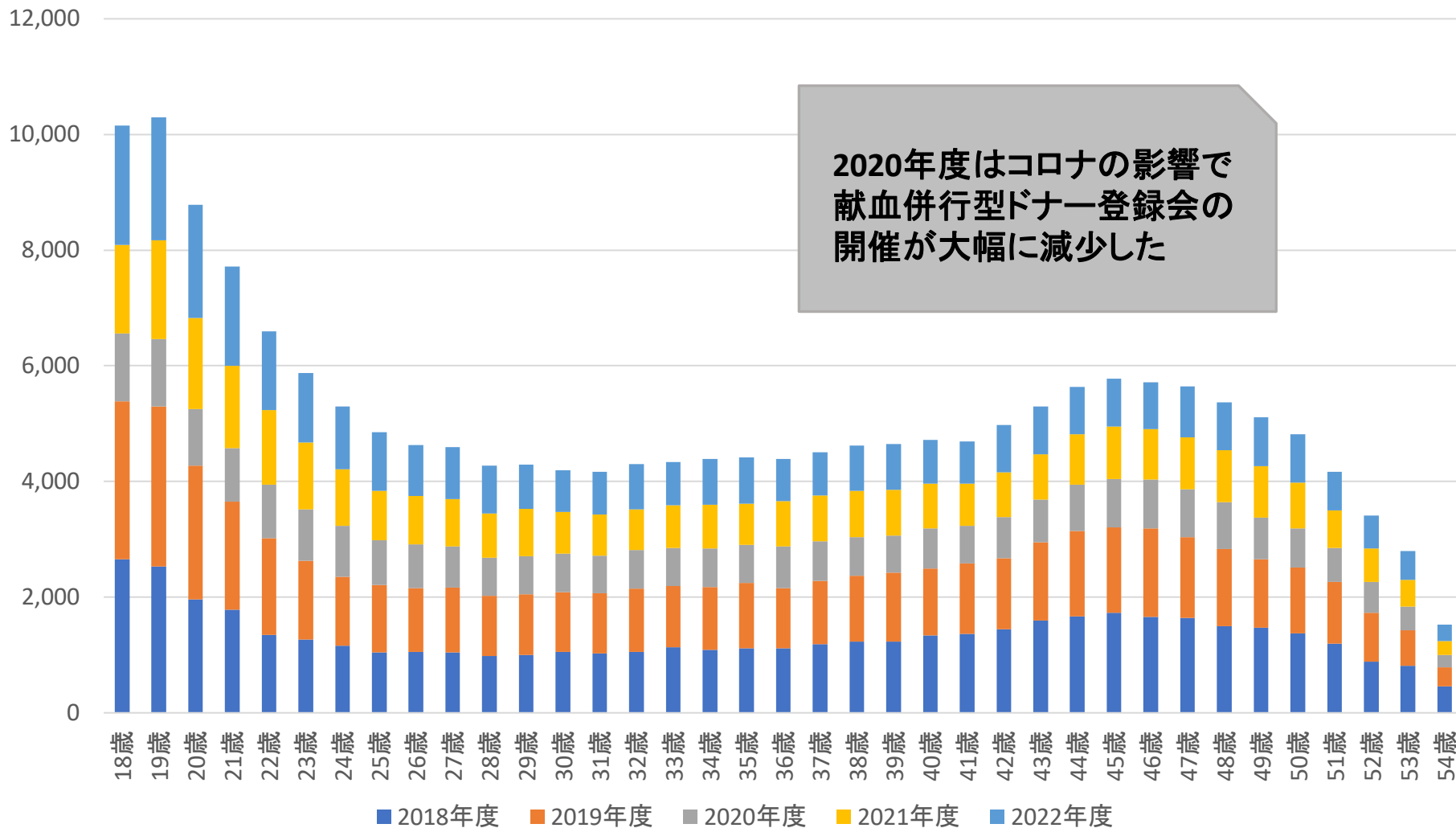
■ 患者登録者数：1,911名 （累計数：67,070名）

■ 累計移植例数：27,784例

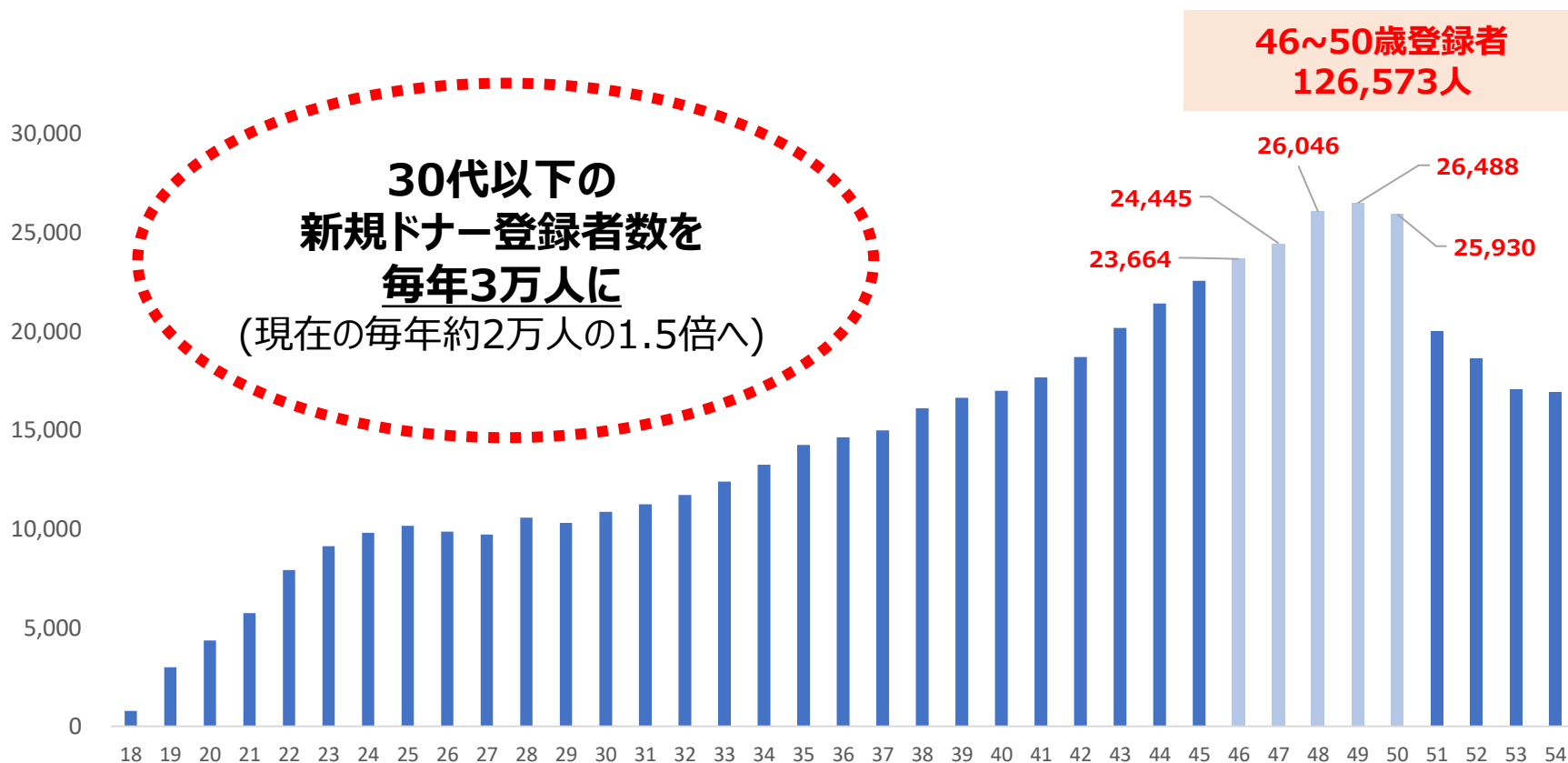
■ 国内患者の移植率（2022年度）：55.0%

移植率は実際に移植を受けられる患者の比率

年度別 年齢別ドナー登録者数（全国計）



年齢別ドナー登録者数(2022年12月末)



ドナープール縮小回避のため、
若年層ドナーの登録拡充が重要

提供ドナーの年代別比率

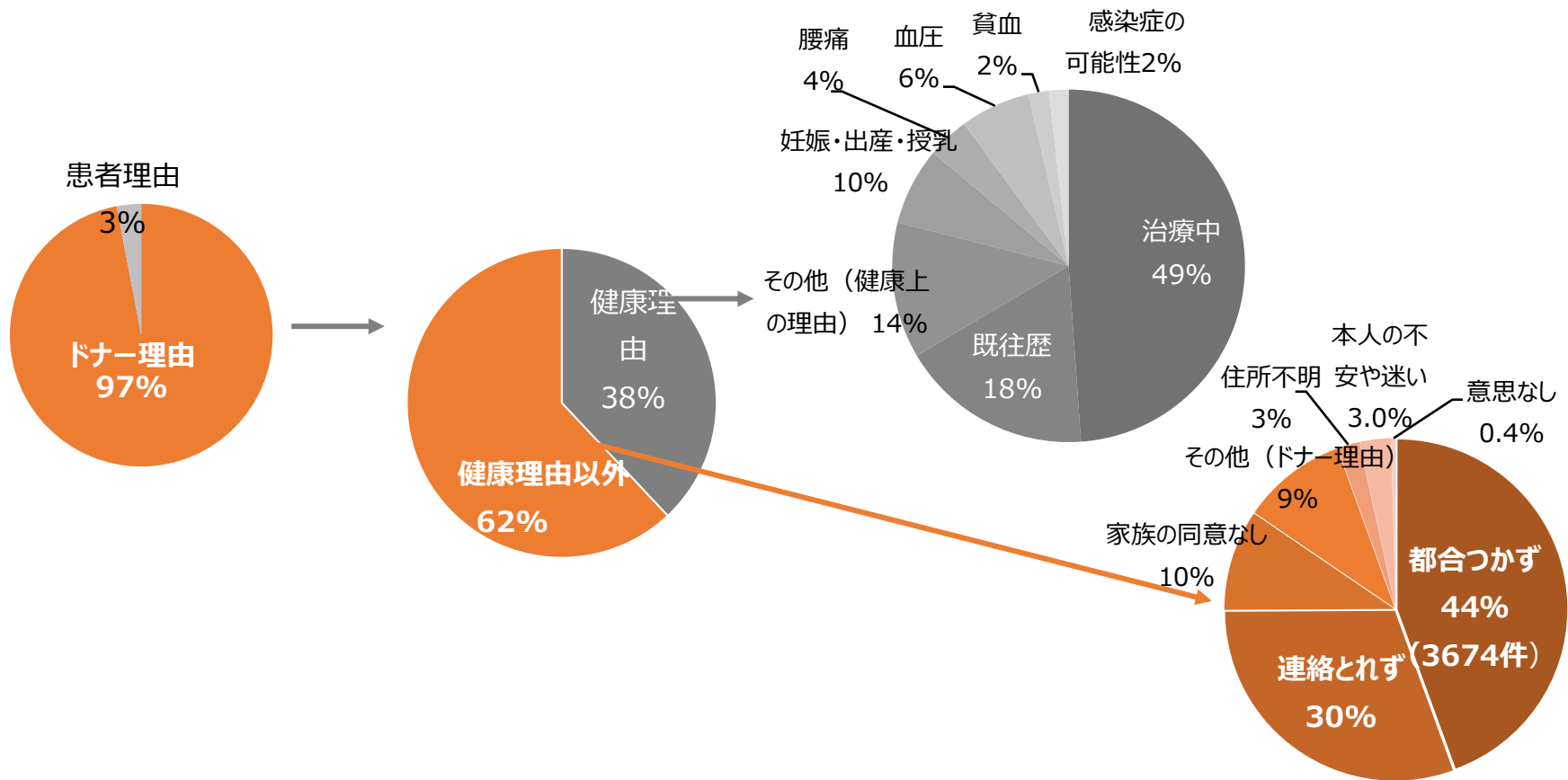
20代・30代のドナーは健康状態がよいので提供できる方が多く、移植後の治療成績が高いとされている

	20代	30代	40代	50代	全体
A.ドナー登録者 2022年10月5日時点	(10代含む) 89,560 (17%)	136,061 (25%)	219,035 (40%)	96,564 (18%)	541,220
B.適合通知送付 2022年	5,618 (25%)	6,224 (27%)	8,065 (35%)	2,858 (13%)	22,765
C.採取 2022年	276 (26%)	315 (30%)	359 (34%)	116 (11%)	1,066

ドナー応諾率の現状

適合しても、多くがドナーの理由で終了している

※2021年度コーディネート開始件数 23,605件
 (初期段階での終了件数 13,749件)



骨髄バンクの課題と取り組み①

若年層を軸としたドナー登録と骨髄バンク事業の認知推進

- 大学ボランティアサークルなどのメンバーを対象にした学生説明員の養成、学校（大学、専門学校、高校等）でのドナー登録会の開催
- 文部科学省主導の「がん教育」事業との連携を目指し、骨髄バンクの認知度。
→移植経験者や提供経験者による「語りべ講演会」、「絵本朗読会」の開催継続、さらに、リモートを取り入れ公演回数を増やす。
- SNSやテレビ、新聞等を通じた若年層への情報発信
→X(Twitter)、インスタグラム等を活用



認知度向上のための若年者向けSNS発信 X(Twitter)



(公財)日本骨髄バンク

@JMDP1789

【公式】骨髄バンクの様々な情報を発信します！移植が必要な患者さんの二人に一人しか、提供ドナーが見つかっていません。

▶あなたにしか救えない命があります！

ご応募や拡散のご協力ありがとうございました！

4/23(日) #Vリーグ 男子ファイナルで #ピースドナーシートが実現🌟
 16~24歳の方が参加され「患者さんのため、18歳になったら登録をしたい」「私にできることしようと思いました」等の感想をいただきました！

#想像力がいのちを救う



Sports Cares(@sports_cares)のキムタカ選手(@TakahiroKimura9)主催のイベントに集まった、約80名のラグビーファンの皆様がおレンジシリコンバンド&Tシャツで患者さんを応援❤️
 会場全体がオレンジ色に🍊

#ラグファン大感謝祭2023

#Heroisyou

#骨髄バンク



骨髄バンクの課題と取り組み②

応諾率向上のための社会環境の整備と ドナーリテンションの推進

- 提供意思維持のため、SMSを通じた情報提供をする登録時の「LINE友だち登録」の推進

【都合つかず】のドナーに対する対策

- ドナー休暇制度、公欠制度の推進
- 適合ドナー勤務先へのアプローチ
→適合通知画面での案内(右記)、
職場向けパンフレットの活用、設置されている制度の
アナウンス強化(コーディネートの各行程)

【連絡とれず】のドナーに対する対策

- 年に2回発行「バンクニュース」で住所変更の必要性を
マンガとともに説明
- 住所不明者のうち、携帯番号がわかっている人にSMSを発信し
住所変更を促す。

→R4年は2回発信、対象者約9万人のうち12.3%がドナープールに戻った。



HOME >

ドナー候補者の方へ(適合通知を受け取られた方へ)

文字サイズ 小 中 大

適合通知を受け取られたドナー候補者の方へ

このSMS(ショートメッセージ)は、骨髄バンクドナー登録者のうち、今回患者とHLA(白血球の型)が適合した方にお送りしています。

まずは、本日3日以内を目処にWEB問診入カシステム(ページ下部に移動します)にログインし、提供に向けた面談や検査を希望されるかなどをご回答ください。回答時間の目安は15~30分程度です。

今後の流れ、採取方法

WEB問診入カシステムにご回答いただいた方には、まず確認検査の日時をご相談します。
その後も患者さんの状況にあわせながら、都度日時をご相談します。

3~6か月

- 適合通知 (所要時間)
- 2~4週間以内 確認検査 1~2時間
- 最終同意 2時間
- 術前健診 2~3時間
- 採取準備(通院) 1~3日
- 採取(入院) 4日 (骨髄採取の場合) / 5~6日 (末梢血幹細胞採取の場合)

骨髄、末梢血幹細胞どちらの方法で採取を行うかは移植を受ける患者側の状況により決まります。ドナーの方には承諾できない方法があるか確認しますので、承諾しない方法でコーディネートが進むことはありません。

骨髄バンクの課題と取り組み③

「ドナー休暇制度／公欠制度」導入の働きかけ

- ・企業や団体等への「ドナー休暇制度」、学校への「ドナー公欠制度」導入を継続的に推進する企業や団体等への「ドナー休暇制度」、
- ・学校への「ドナー公欠制度」導入を呼びかけを継続する。
→「語りべ講演会」実施時などに、ドナー登録会開催、学生説明員養成と合わドナー公欠制度導入を依頼していく。

スワブによるドナー登録の体勢の準備

- ・口腔粘膜スワブ検体を用いた検査によるドナー登録
→受付～登録希望者から検査会社への発送、当法人の結果取得の流れを試行、令和7年の本格導入を目指した準備をする

※「採血を伴わない登録」となるため、登録の呼びかけをする場所が限定されない、というメリットがある。

2022年度都道府県別学校でのドナー登録会開催状況

都道府県	開催数	開催割合	登録数	県	開催数	開催割合	登録数	県	開催数	開催割合	登録数
北海道	2	8%	23	新潟県	12	27%	52	岡山県	13	36%	260
青森県	24	14%	117	富山県	12	19%	82	広島県	11	10%	200
岩手県	1	11%	2	石川県	1	1%	1	山口県	2	15%	21
宮城県	2	1%	44	福井県	0	0%	0	徳島県	0	0%	0
秋田県	1	17%	20	岐阜県	14	7%	118	香川県	1	1%	2
山形県	4	6%	28	静岡県	3	4%	11	愛媛県	9	33%	43
福島県	0	0%	0	愛知県	8	26%	67	高知県	2	67%	17
茨城県	3	9%	32	三重県	1	6%	2	福岡県	5	5%	65
栃木県	10	7%	28	滋賀県	41	23%	223	佐賀県	11	10%	45
群馬県	14	11%	135	京都府	27	9%	145	長崎県	20	21%	77
埼玉県	8	2%	88	大阪府	60	13%	660	熊本県	19	18%	250
千葉県	31	9%	232	兵庫県	12	10%	207	大分県	0	0%	0
東京都	127	15%	801	奈良県	0	0%	0	宮崎県	15	11%	57
神奈川県	36	14%	515	和歌山県	7	27%	87	鹿児島県	1	2%	0
山梨県	0	0%	0	鳥取県	5	56%	31	沖縄県	57	95%	669
長野県	2	3%	12	島根県	6	5%	44	合計	640		5513
								平均	13.6	11%	117.3

学校での開催数は各都道府県によって大きく差がある(開催割合0%~95%)



2020,2021年度 会場別ドナー登録状況

2022年	回数	登録数	1回あたりの登録数	献血受付平均	献血受付人数 に対する割合
オープンスペース	4	9	2.5	39	5%
公共施設	53	82	1.5	41.3	3%
教育(大学、専門学校等)	2	12	6.0	29	20%
企業一般	10	29	2.9	54.2	5%
献血ルーム	6	8	1.3	55.5	2%

2021年	回数	登録数	1回あたりの登録数	献血受付平均	献血受付人数 に対する割合
オープンスペース	2	9	4.5	69	6%
公共施設	60	117	1.9	41	4%
教育(大学、専門学校等)	4	23	5.7	41.7	13%
企業一般	10	35	3.5	52.5	6%
献血ルーム	11	31※	2.8	44.9	6%

※うち1回は登録数不明

学域は
一回あたりの
登録数多い
(登録割合が高い)

学校でのドナー登録会の開催、10代～30代を中心にドナー登録の声かけ
0～2名程度40代以上の登録しか見込めない会場の見直し、又は一時休止の検討が必要

現状と課題のまとめ

- 長野県内登録対象人口千人当たりのドナー登録割合
6.47(2023年7月末現在) ← 昨年同時期は6.25
- 全国の10代~30代の登録比率
68%(2022年度) ← 65%(2021年度)から増加
- ドナー休暇制度、公欠制度を取り入れている企業、学校(当法人調べ)

大学、専門学校	2校
企業	1社

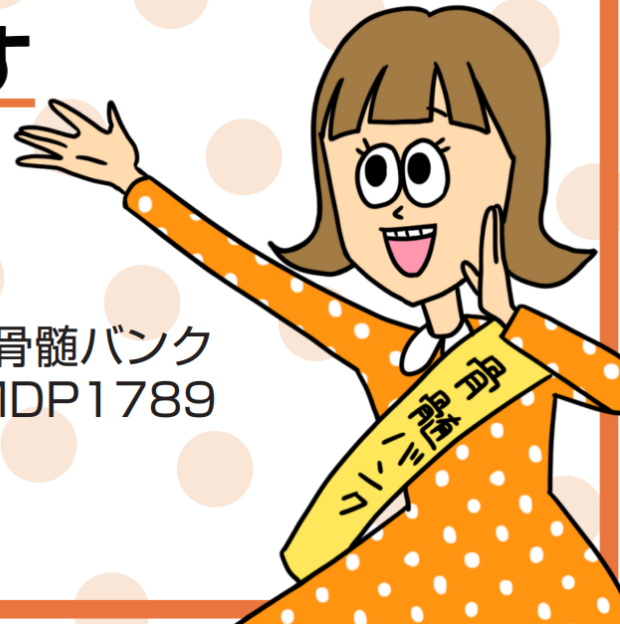
関係各所の皆様のご協力により、登録対象人口、10代~30代の登録比率は増加

- ・ “若年ドナー” “1回あたりの登録数”が多く見込める学域でのドナー登録会の推進
- ・ 教育機関等での「語り部事業」拡大、骨髄バンクへの認知を高める
- ・ 応諾率を高めるためのドナー休暇制度、公欠制度導入の呼びかけ…等、引き続き皆様のご協力を必要としています。

フォロワー&リツイートを
お願いします



日本骨髄バンク
@JMDP1789



目標:フォロワー3万人